



郷間 康久 (統)

カフェのまちを全国にアピール

**問** 市内には、食、音楽、アートなどを複合させた多彩なカフェが誕生しつつあり、コミュニティの交流拠点として注目を集めている。このような背景を市のブランド戦略に取り入れ、夜のジャズ・カクテルと相乗させながら、昼の時間をゆつたりと過ごせる「カフェのある街」として全国にアピールし、集客戦略を図ってはどうか。

**答** 近年、市には創意工夫を凝らした個性豊かな、魅力あふれるカフェがオープンし、市民のみならず、まち歩きをする観光客にも憩いのひと時を提供するなど、おもてなしの空間として活用されて

れている。

市では、これらを地域の観光資源の一つとして捉え、市の観光パンフレット「るるぶ宇都宮」で、大谷石造りのカフェなどを掲載し、観光PRをおこなっている。また、現在、既存の観光資源と多彩なカフェを結びつけた市内の観光コースを着地型旅行商品のメニューとするために検討しており、今後はこれらの商品について、首都圏等に魅力ある情報発信を行い、市への誘客促進に向けて取り組む。



▲カカフェ

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（職員の給与削減方針ほか）
- ②各種防災政策（専門士会と災害時協力協定ほか）
- ③平出工業団地の各種課題（用途変更の可能性ほか）
- ④夜間・休日コールセンターの設置
- ⑤婦人防火クラブ
- ⑥準用河川「山下川」の改修方針



小林 紀夫 (自民党)

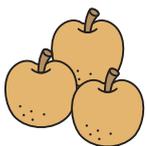
攻めの農業に舵を切れ

**問** 農業政策について①政府の目指す「攻めの農業」「力強い農業」を実現するための新しい取り組みが必要と考えるが、将来的な需要を見据え、漢方薬の原料となる薬草の産地化に市として積極的に取り組んではどうか。

**答** ①薬草栽培には問題点もあるが、企業との契約栽培による安定収入や

小面積の栽培でも高い収入が期待できるなどの利点があるため、特色ある産地作りを進めるため、薬草を含めた新たな農産物の導入について地域適性や栽培方法を考慮しながら検討していく。

②農業共済制度は災害対策制度であり、任意加入の相互扶助制度であるが、市内の主要作物の共済加入率を高めていくことは、農家経営の安定と農作物の継続的かつ安定的な供給にとって重要であるため、現在改定中の「食料・農業・農村基本計画」の中で市の主要作物の支援策の一つとして検討していく。



その他の質問項目

- ①国政の重要政策に対する市の対応（地域の元気創造本部関連施策）
- ②JR宇都宮駅東口地区の整備
- ③中心市街地のまちづくり
- ④市政研究センター
- ⑤ブランド戦略
- ⑥空き家問題の対策



久保井 永三 (未)

県道拡張工事に併せた配水管更新を実施すべき

**問** 市の水道整備について聞く。①市の浄水場等からの給水のうち約55%は、内径1、350ミリメートルの配水管で送られているが、まもなく法定耐用年数40年を迎える。現在、県道拡張工事を行っているので、これを機に布設替えを行えば、無駄な経費をかけずに工事費もかなり削減できると考えるがどうか。

**答** ①現在、高間木取水

場から松田新田浄水場まで、水道原水を送水する約7キロメートルの導水管更新事業に着手しており、完了まで10年余を見込んでいる。

②PE管、EF継ぎ手の採用については、監督員や施工業者の育成、機械技術の習得に時間を要するなど課題があるが、軽量で取り扱いが容易であり、耐震性などに優れていると認識していることから、採用について今後検討していく。



▲PE管とEF継ぎ手

その他の質問項目

- ①下水道関係
- ②北部地域の施策
- ③地域内交通とLRT
- ④空き家対策
- ⑤少子化対策

※PE管……ポリエチレン樹脂でできた軽量で柔軟性のある水道管  
 ※EF継ぎ手……電気を利用して熱線を発熱させ、管を融着して一体化するもの